

地下水利用ポテンシャル図

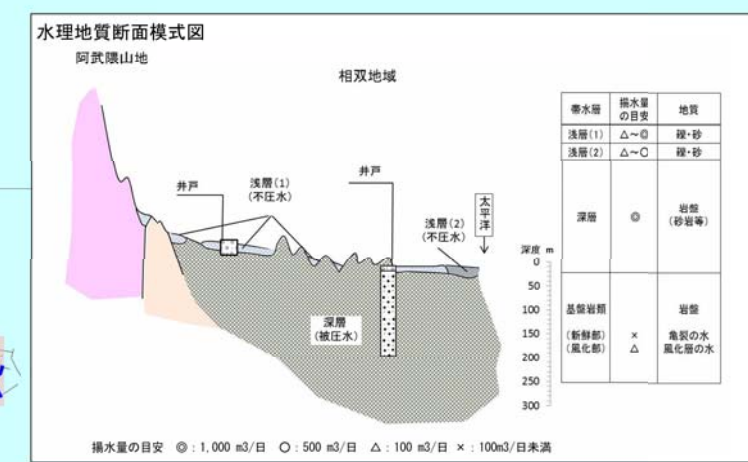
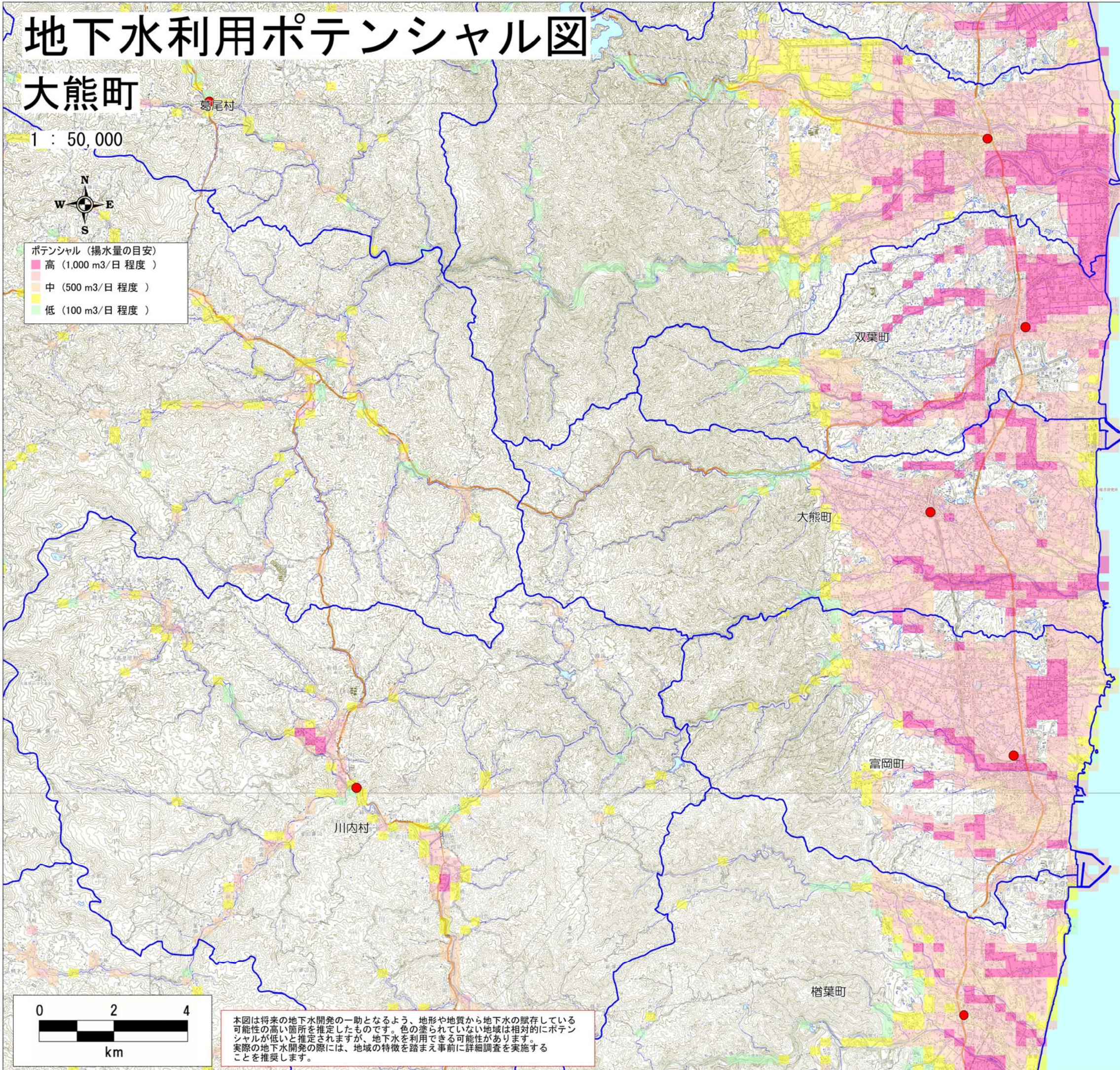
大熊町

1 : 50,000



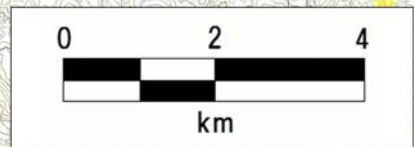
ポテンシャル（揚水量の目安）

- 高（1,000 m³/日 程度）
- 中（500 m³/日 程度）
- 低（100 m³/日 程度）



相双地域の地下水利用概況

- 東部：沿岸部
深度 150～250m の井戸が多い。
揚水量 2,000m³/日 程度の井戸が多く見られる。
- 西部：阿武隈高地
深度 50m 前後の小規模な井戸が多い。



本図は将来の地下水開発の一助となるよう、地形や地質から地下水の賦存している可能性の高い箇所を推定したものです。色の塗られていない地域は相対的にポテンシャルが低いと推定されますが、地下水を利用できる可能性があります。実際の地下水開発の際には、地域の特徴を踏まえ事前に詳細調査を実施することを推奨します。

この地図は、国土院院長の承認を得て、同院発行の数値地図50000（地図画像）を複製したものである。（承認番号 平25情標 第976号）
なお、本成果品を第三者がさらに複製または使用する場合には、国土院院長の承認を得なければならない。